

東北紀行(その3) 松島と塩釜の船

池田良穂

日本三景の1つである松島は、260余りの小島が浮かぶ景勝地で、驚くほどたくさんの遊覧船が就航しています。その起点としては、松島町の観光棧橋と塩釜港のマリンゲート塩釜が2大拠点になっています。

今回2泊した松島町のホテルのすぐ近くに観光棧橋があり、ホテルのベランダから朝から夕方まで大小さまざまな遊覧船が出入りするのを見ることができました。

一方、マリンゲート塩釜からは、丸文松島汽船の大型観光船と小型観光船が出ており、塩釜発着の周遊便と、塩釜～松島航路の定期便があります。

また、同じ岸壁から塩釜市営の浦戸諸島航路の定期船も発着しています。ちょっと珍しい船としては19総トン型のRORO貨物船「なのはなまる」がありました。ロータリークラブが購入して、NPO法人が運航して、浦戸諸島への車両の輸送にあたっています。

松島港



松島のホテルのベランダから眺めた松島。



観光棧橋に並ぶ「仁王丸」三姉妹。松島湾巡り観光船企業組合が運航しています。



松島湾巡り観光船企業組合の最新鋭船「仁王丸」。港で聞くと、墨田川造船で建造されたとのことでした。



松島湾巡り観光船企業組合の「第三仁王丸」。188総トンです。



松島湾巡り観光船企業組合の「第二仁王丸」。



丸文松島汽船の「はやぶさⅡ」。19 総トンで、塩釜と松島を結ぶ航路。



松島湾巡り観光船企業組合の遊覧船「マリブルー」。19 総トンの双胴船。同じタイプの船が数隻いました。



松島の港に、たくさん並ぶ小型遊覧船群です。ほとんどがチャーター船のようです。



松島湾巡り観光船企業組合の「マリーンスター」と「マリーンイーグル」。いずれも 19 総トン型です。



ニュー松島観光船の「あすか」。99 総トンで、塩釜または松島起点の松島湾周遊クルーズに就航しています。



釜石と松島を結ぶ航路に就航する丸文松島汽船の「はやぶさ3」。19 総トンで、19 ノットの航海速力です。

マーケット塩釜



塩釜市営の「うらと」は、塩釜と浦戸諸島を結ぶ定期航路に就航しています。現在は、1日5往復しています。19総トンで、航海速度は13.5ノットです。



2018年に建造された「しおね」は、塩釜市営船の中で最新鋭船です。「うらと」と同様に19総トンのようです。塩釜始発便には、ランドセルを背負った小学生と、制服を着た中学生がたくさん乗り込んでいました。市内から浦戸島の学校に通う子供たちとのことでした。



19総トン型フェリー「なのはなまる」で、NPO法人浦戸フェリーが運航しています。浦戸諸島にはカーフェリーが運航されておらず、物資輸送が滞り震災復興に支障をきたしていたため、地元ロータリークラブが船を購入して、NPOが運航し、予約に応じて1回3～5万円で運航しているとのこと。元笠戸諸島航路で活躍した「北成1号」です。



丸文松島汽船の船隊の中では、最も大型の227総トン型の遊覧船「あおば」です。旅客定員は400名。



丸文松島汽船の「第二芭蕉丸」と「第三芭蕉丸」です。



丸文松島汽船の「第三芭蕉丸」。



ニュー松島観光船の「しらたか」。19総トンで、塩釜と松島を結ぶ航路等に就航しています。